



# しぶき 飛沫を浴びて



## 「受験\*と非認知能力」

校長 重村 恭彦

\*本稿で「受験」とは、入学試験（大学、短大、専門学校、各種学校等）、公務員試験、就職試験など、高校卒業後の進路決定に係る直接的なプロセスをいいます。



大学入学共通テスト終了後、三年生一人ひとりの出願校等を検討するための会議を、校内で実施しました。会議の中である学級担任が、「生徒Aさんの学力であれば、Z大学への合格は十分可能——。」と報告する場面がありました。ここでいう学力とは、英語や数学等の入試問題に対する解答結果が点数として可視化される能力のことを指しています。

入試問題のように、同じものさしを使って点数や数値で測定、評価できる力を認知能力といいます。認知能力は、一点刻みの点数で測定できるため、外形的に明確な指標である一方、大学入試においては、僅か一点差で合否を分けるという、偶然性を孕んだ不合理な面も併せ持っています。高々一点差が、どれだけ本質的な能力の差に該当するかといえは、ほとんど当たらないということになるからです。不合理だし、理不尽です。

しかし、一点差を競う受験というものが不合理、理不尽極まりないものであって、若者たちを単に苦しめるためだけのものかと言えば、私の答えは否、ということになります。

受験指導を行う高校の現場では、令和の今も、「最後は気持ちだから。」とか、「集中力を高めて。」とか、「難しい問題だからといって諦めず、最後まで粘るんだ。」といった、所謂、精神論的な声掛けが行われています。生徒たちにとって受験は、一点差が合否を決定づけるという構造上、強い精神的緊張を伴う場面です。だからこそ、生徒たちは真剣に学業に向き合う気持ちの持ち方が大切であることに気づいてくれますし、たとえ力があっても本番で最高のパフォーマンスを発揮するためには集中力が必要であることを知り、本気になって磨き上げようと努力をしてくれます。また、挫けそうな気持ちに負けず、諦めずに最後までやり抜くことができなければ、一点差の際どい勝負を潜り抜けることができないことも学んでくれます。つまり、受験に立ち向かうからこそ、今後の人生に必要な資質や能力を加速度的に獲得していくのです。受験というシステムは、若者たちをして、大人への階段を一気に駆け上がらせしむる、そんな装置に他なりません。

勿論、高校教育において、生徒一人ひとりの希望進路実現が極めて重要であることは言うまでもありません。しかし、それのみに止まるのであれば、公教育としての壱岐高校の存在意義は十分発揮されていないと私は考えています。

受験というシステムを通して、目標に立ち向かう勇気やチャレンジング・マインド、集中力、最後まで諦めずに粘り抜く力に加え、忍耐力や自制心、気持ちを切り替える力、自らを信じる自信、物事を前向きに捉える楽観性、さらには、仲間と共に目標に向かって協働する協調性など、テストの点数では測ることのできない、しかし人生を支えていく上で不可欠な非認知能力を育てていくことこそが、壱岐高校の使命だと考えるからです。

認知能力を高めるために非認知能力を育て、認知能力の育成を通じて非認知能力を醸成する。換言すれば、受験に向けた取組を通じて非認知能力を育成し、非認知能力を培うことで受験を突破する力を修得させるという考え方——実はこの考え方は、用語が少し新しいだけで、これまでも壱岐高校で大切にされてきたものであり、改めて全教職員で確認し、今後も大切にしていきたいと思っています。

令和七年度の一年間、壱岐市民の皆様には大変お世話になりました。令和八年度も引き続き、壱岐高校、壱岐高生をどうぞよろしくお願いいたします。

## ◆卒業式（令和8年3月1日（日））

やわらかな春風に包まれながら、卒業生139名が本校を巣立ちました。張りつめた空気の中、一人ひとりが堂々と壇上に立ち、3年間の歩みの証である卒業証書を受け取りました。その姿には、これまで積み重ねてきた努力と、未来へ向かう確かな決意が静かに表れていました。139名のこれからの人生に幸あれ！



＜感動的な答辞で会場に涙を誘った浦川寧琉さん＞



＜卒業証書を手にし、しっかりと前を見て、将来を見据える生徒＞



＜威風堂々と退場する3年生＞



＜在校生送辞を行う中上あかりさん＞



＜卒業証書を受け取る3年生＞

## ◆ハーモニー王決定戦

80回生（1年生）が学年行事としてハーモニー王（合唱コンクール）を実施し、歌唱力を競い合いました。課題曲は卒業式の式歌である「旅立ちの日に」と、壱岐高校の校歌3番4番です。練習回数は僅か3回でしたが、生徒は、よりよい歌を目指し懸命に活動に取り組み、本番では各グループの良さを活かした美しい調和を作り出していました。講評では、多くの先生方からお褒めのお言葉をいただきました。この行事を通して、生徒の協調性の涵養に繋がりました。



＜ハーモニー王の意義を問う法澤1学年主任＞



＜パート練習の様子＞



＜本番前、抱負を述べるCグループ長＞



＜ハーモニー王を受賞したAグループ＞



＜Impression賞\*を受け取る生徒＞

※Impression賞：感動を最も与えた歌唱に与えられる賞状

## ◆ 今月の玲瓏星

### 『千里の道も一歩から』

あおい

☆2年2組 富永 葵 さん☆



葵さんはこの1年間、誰よりも貪欲に公務員試験対策に取り組んできました。火・木の昼休みに実施されている公務員対策講座にも熱心に参加し、平日は2時間、休日は4時間程度、家での勉強も欠かしません。「初めのころより解ける問題数が確実に増えた」と語ります。公務員試験の問題は、1問1問を解き、地道に解き方を身につけていくしかありません。その一歩一歩が、着実に葵さんの実力になっています。夢に向かってまっしぐらな葵さんが、今月の玲瓏星です。

### 『綺麗な海は話し合いより始まる』

しおり

★2年4組 岩本 葉 さん★



葉さんは、五島市、新上五島町、対馬市、杵岐市の高校生約40名とともに、「日韓高校生海ごみワークショップIN釜山」に参加しました。当日は海岸清掃をはじめ、発表やディスカッション、海洋ごみアート制作など、さまざまな活動に取り組みました。はじめは緊張した様子でしたが、次第に交流を深め、合意形成の大切さを学ぶことができました。もともと環境問題に関心を持っている葉さんは、将来、海洋ごみの削減に関わる活動に従事したいと考えているそうです。今回の活動を通して、自分の夢へとまた一歩近づいた葉さんが、今月の玲瓏星です。

### 『杵岐の魅力発信』

ふうか

☆1年5組 峯 颯花 さん☆



颯花さんはヒューマンハート部に所属し、部活動では探究チームで活動しています。その中で、神社の魅力に気づいてほしい、足を運んでほしいと考え、神社の※御幣作り体験を企画しました。この企画は大阪万博で杵岐のPRとして実施し、大盛況となりました。また、企画をビジネスにつなげようと、12月に行われた『ながさき「しま」のビジネスチャレンジ』の本審査において特別賞をいただきました。杵岐の魅力発信に一役買った颯花さんが今月の玲瓏星です。

※御幣：神道における神様への捧げ物であり、紙垂を挟んだ幣串からなる神具のこと。



<御幣のイラスト>

## ◆ 行事予定 (3/24現在)

1	水	入学予定者オリエンテーション 部活動紹介 クラス発表(1年)
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	コース新入生交流会
8	水	クラス発表(2、3年) 始業式 大掃除 入学式
9	木	面談 スタディーサポート(1年) PTA入会式 杵岐高テスト(2、3年) 第1回コース交流会
10	金	面談 杵岐高テスト(3年) 校内研修(1年)
11	土	
12	日	
13	月	面談 個人写真撮影 校内研修(1年) 内科検診(1~3年)
14	火	心電図(1年) アサーショントレーニング(1~3年)
15	水	内科検診・尿検査一次(1~3年) 部活動入部集会 埋蔵文化財センター初顔合せ(東アジア歴史・ 中国語コース1年) PTA会計監査・PTA本部役員会
16	木	前期自治委員任命式 身体測定・体力測定(1~3年) 各種専門委員会
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	内科検診(1~3年) 体育祭特別時間割(~4/30)
21	火	耳鼻科検診(1年) PTA健全育成委員会・学年PTA役員会(2、3年)
22	水	内科検診(1~3年)
23	木	防災避難訓練 虹の原特別支援学校杵岐分 校高等部との対面式 耳鼻科検診・尿検査二次・心電図(1年)
24	金	
25	土	両校戦(~5/6)
26	日	
27	月	第1回PTA支部長会・理事会
28	火	歯科検診(1~3年)
29	水	【昭和の日】
30	木	教育心理検査(1年)

## 第3回コース交流会(2/27)・卒業生の旅立ち(3/1)



2年生が見事な進行をしました。



2年生の宮野幸一さんが代表して「歩け、歩け。続けることの大切さ」という伊能忠敬の言葉を引用し、3年生のように挑戦し続けることへの精神を受け継ぎたい」と心のこもった感謝を伝えました。



## しま親さんに感謝状贈呈

卒業式に先立ち、3年間いつも優しく見守り、留学生を育ててくださったしま親さんへ重村校長先生より感謝状を贈呈しました。



## 1年生が、地域との交流を行いました。(2/11)

人面石クッキー作りを大塚製菓堂で、鬼風の絵付けを鬼風工房平尾で体験しました。

この体験は、地域との関わりを深め、また、杵崎への郷土愛を育むことを目的に、行われました。

クッキー作り体験では、個性を生かした出来栄でした。次に、鬼風の絵付けでは、鬼風誕生の由来を聞き、鮮やかな4色の食紅で彩られた凧を見て、百合若大臣の姿にも想像した生徒もいました。

本校にも鬼風が描かれたのれんが、かけられています。

\*関係者の皆様、ありがとうございました。



## 鳥居龍蔵記念全国高校生歴史文化フォーラムで発表(2/15)



2年宮野幸一さんが、標記フォーラムにて、テーマ「杵崎中世史解明の新視点―誰が生池城を改修したか―」を発表しました。

他校の発表を聴いて疑問に思ったことを自分から質問する姿が見られました。

## 杵崎市と県埋蔵文化財センターへ表敬訪問(2/27)

全員が、卒業後の進路やこれまでお世話になった方(篠原市長、寺田所長)へお礼を述べた後、皆様から激励の言葉をいただきました。3年間、ご支援誠にありがとうございました。



## ～夏先生より、お別れの言葉～

わずか一年間ではありましたが、毎日ドキドキしながら過ごしました。しかし、生徒たちが中国語を真剣に学ぶ姿を見ることができ、未熟な自分にとって、これ以上の励みはありませんでした。

中国語を通じて結ばれたこの特別な絆は、杵崎に来なければ得られない貴重なものではないかと思っています。

一年間、本当にお世話になりました。また、お会いできる日を楽しみにしています。

